

平成20年度大気環境保全活動功労者表彰受賞者及び功績

(個人:11件 団体:6件)

個人

氏名	年齢(歳)	職業	功績概要
あわづ きくお 栗津 記久夫	61	元大分県衛生環境研究センター参事兼大気・特定化学物質担当専門研究員	多年にわたり大気保全行政・調査研究に従事し、大分地域硫酸化物総量削減計画の策定をはじめとして、大気環境の保全に多大な貢献。
いわた りき 岩田 理樹	56	北海道環境科学研究センター環境科学部長	大気中の有害汚染物質の測定技術やその実態把握、またその汚染源の解明、さらには未規制化学物質の実態把握等に関する調査・研究で数多くの実績を残し、大気環境の保全に多大な貢献。
おぐら たけじろう 小倉 竹治郎	60	元大垣市生活環境部長	大垣市の環境行政に長期にわたり携わり、同市の主要事業場と公害防止協定を締結するなど大気環境の保全に多大な貢献。
おぐり あきら 小栗 彰	56	福井工業大学産学共同研究センターコーディネーター、准教授	平成15年度から、道路沿道の大気汚染に関する研究を実施し、その後、窒素酸化物濃度の分布や拡散状態を明らかにするなど、一貫して大気汚染状態の研究に従事。移動排出源である自動車からの排気ガスが大気汚染に及ぼす影響について、従来不可能であった非定常な変動を捉えられるようになり、測定精度の向上に貢献。
きただ としひろ 北田 敏廣	60	豊橋技術科学大学教授	平成10年より10年間愛知県環境審議会大気部会長を務められ、部会の運営、諮問事項の答申を通じ、愛知県の環境行政に多大な貢献。
こうち てついち 河内 哲一	59	愛媛県立衛生環境研究所環境研究課長	多年にわたり大気保全業務に従事し、光化学スモッグの発生機構解明のための統計解析、ダイオキシン類をはじめとする有害大気汚染物質対策等を推進し、大気環境の保全に多大な貢献。
たかみ かつしげ 高見 勝重	60	大阪府環境農林水産総合研究所情報管理課長	平成4年度から大気汚染、特に自動車公害対策に従事し、局地汚染対策の一環として我が国で最初に「土壌による大気浄化システム」の開発等を手掛け、全国的に技術普及させた。また、アйдリング規制条例の制定等についても積極的に取り組み、局地汚染対策に多大な貢献。
ふじい しゅうじ 藤井 修二	59	東京工業大学大学院情報理工学研究所教授	平成10年より川崎市環境審議会委員を歴任し、大気汚染対策をはじめとした環境対策の推進について、多角的な視点からの環境行政への提言を取りまとめ、また有益な助言を行うなど、川崎市の環境行政に多大な貢献。
ますだ けいこ 増田 啓子	60	龍谷大学経済学部教授	平成13年より神戸市の環境影響評価制度における第三者機関としての環境影響評価審査会委員として、長年にわたり、気象学の視点から環境アセスメントの大気汚染分野の調査審議に尽力いただくなど神戸市の環境行政に多大な貢献。
まつえだ たかひこ 松枝 隆彦	60	九州大学工学研究院学術研究員	ダイオキシン類汚染の実態解明をはじめとして、昭和47年から有害化学物質に関する研究を継続。 平成12年度よりダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討会検討員として、ダイオキシン類測定の精度管理の向上に多大な貢献。
むらせ ひでや 村瀬 秀也	60	岐阜大学工学部非常勤講師	環境中のダイオキシン類測定をはじめ、昭和46年より一貫して公害・環境関係に関する研究を継続。 平成12年度よりダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討会検討員として、ダイオキシン類測定の精度管理の向上に多大な貢献。

団体

団体名	代表者	功績概要
オヤット天文クラブ <small>テンモン</small>	会長 橋本 恒夫 <small>かいちよう はしもと つねお</small>	平成7年より毎年夏期スターウォッチングネットワークに参画し、星空の観察会を通して青少年に大気保全の大切さ、保全意識の向上のための普及、啓発活動を実施。
新日本石油基地 (株) <small>シンニホン セキユ キチ</small>	取締役社長 淵脇 哲朗 <small>とりしまりやくしやちよう ふちわき てつろう</small>	原油中継備蓄基地において、臭気問題の緩和、VOC削減及びエネルギーの有効利用を目的としてタンカー排出ガス処理設備を建設し、タンカー排出ガス中のVOCを95%以上削減可能とした。また、収集したVOCの原油への再吸収によるエネルギーの有効活用を図るなど、日本初となる設備設置による先駆的な環境対策を実施。
新日本石油精製 (株)大分製油所 <small>シンニホン セキユ セイセイ</small>	所長 甲斐 康信 <small>しよちよう かい やすのぶ</small>	大分臨海工業地帯で最初に操業を始めた九州唯一の製油所として創業以来一貫して、厳しい基準を定めた公害防止協定を遵守し、環境対策を徹底して実施。また、大分県唯一の液化天然ガススタンドの設置や石油精製に伴うベンゼン除去装置の早期設置など大気環境の保全に多大な貢献。
(財)鉄道総合技術 研究所 <small>ザイ テンドウ ソウゴウ ギジュツ</small>	理事長 秋田 雄志 <small>りぢちよう あきた かつ じ</small>	鉄道の線路橋等の塗替え時に使用する塗料について、低VOC塗装の普及促進を図るため、環境負荷を軽減した塗装仕様を定め、関東地域鉄道各社に普及させるとともに、水系塗料による塗装の施工性、長期耐久性、コスト等についての理解を広めた。
(社)兵庫県トラック 協会 <small>シヤ ヒョウゴケン</small>	会長 福永 征秀 <small>かいちよう ふくなが ゆく ひで</small>	平成8年から兵庫県アイドリング・ストップ運動推進本部員として率先してアイドリング・ストップ運動を実践。また、平成13年からは環境情報誌を継続的に刊行し、県民に対する環境情報の提供等広報活動も積極的に実施するなど大気環境保全に多大な貢献。
福井県立高志高 等学校 <small>フクイ ケンリツ コ シ コウ</small>	校長 松田 通彦 <small>こうちよう まつだ みちひこ</small>	降雪のサンプリングによる雪融解水中のpH、電気伝導度、主要溶存イオン濃度を測定。これにより大気中に含まれる窒素酸化物や硫酸化物の分析を行い、雪の酸性度を調査。これらを課題研究として継続して取り組んでいる。文部科学省からもスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けている。